

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村利通

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部本部長 (氏名) 徳永孔志

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成23年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,344	7.1	174	△1.2	169	6.3	60	△23.6
22年3月期第3四半期	3,122	18.8	176	—	159	—	79	△45.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	13.61	—
22年3月期第3四半期	17.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,724	2,684	46.9	602.81
22年3月期	5,677	2,658	46.8	596.89

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,684百万円 22年3月期 2,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,260	1.1	170	△18.5	150	△19.8	49	△51.7	11.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	4,558,860株	22年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	105,753株	22年3月期	105,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	4,453,164株	22年3月期3Q	4,454,678株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご参照下さい。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する定性的情報	1
	(2) 財政状態に関する定性的情報	1
	(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2	その他の情報	2
	(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
	(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
	(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3	四半期財務諸表	3
	(1) 四半期貸借対照表	3
	(2) 四半期損益計算書	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	(4) 継続企業の前提に関する注記	6
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
	(6) セグメント情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における我が国経済は、緩やかな景気の回復基調にはあるものの、輸出は伸び悩み、国内企業の業績をはじめとして個人消費、雇用情勢などの改善も進まない状況の下、足踏みの状態で継続いたしました。為替相場におきましても、海外経済の影響などから円高基調で推移しており、今後における企業収益への影響が懸念されております。

このような環境の下、当第3四半期の業績につきましては、売上高は33億4千4百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野においては、腎機能検査薬及び糖尿病検査薬が第2四半期と同様に好調な推移を示したことにより10億5千9百万円（前年同期比12.9%増）となり、免疫分野におきましても、アレルギー診断薬が引き続き好調な伸びを示し21億1千万円（対前年同期比11.3%増）という結果になりました。その他の分野におきましては、主に遺伝子関連試薬により1億7千4百万円（対前年同期比39.8%減）となりました。

また、営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ1億7千4百万円（前年同期比1.2%減）、1億6千9百万円（前年同期比6.3%増）となり、四半期純利益では、投資有価証券評価損及び投資有価証券売却益などの特別損益の計上により、6千万円（前年同期比23.6%減）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	883,863	28.3	996,634	29.8
	免疫血清学的検査用試薬	256,475	8.2	285,671	8.5
	そ の 他	237,723	7.6	147,785	4.5
	計	1,378,062	44.1	1,430,092	42.8
商 品	生化学的検査用試薬	54,481	1.7	63,052	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	1,639,015	52.5	1,824,917	54.6
	そ の 他	51,255	1.6	26,309	0.7
	計	1,744,751	55.9	1,914,279	57.2
合 計	生化学的検査用試薬	938,344	30.0	1,059,687	31.7
	免疫血清学的検査用試薬	1,895,490	60.7	2,110,589	63.1
	そ の 他	288,978	9.3	174,095	5.2
	計	3,122,814	100.0	3,344,371	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産の額は、57億2千4百万円となり、前事業年度末と比べ4千6百万円の増加となりました。その主な要因は次のとおりです。当第3四半期会計期間末における流動資産は24億1千2百万円となり、前事業年度末と比べ8千9百万円の増加となりました。これは主に、投資その他の資産の長期預金から現金及び預金への振替1億円と原材料及び貯蔵品が1千9百万円増加し、繰延税金資産が2千2百万円減少したためです。固定資産につきましては、33億1千1百万円となり、前事業年度末と比べ4千2百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券評価損5千1百万円の計上による減少と繰延税金資産2千1百万円の増加によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債の額は、30億3千9百万円となり、前事業年度末と比べ2千万円の増加となりました。その主な要因は次のとおりです。当第3四半期会計期間末における流動負債は23億6千5百万円となり、前事業年度末と比べ1億2千6百万円の増加となりました。これは主に賞与引当金が4千7百万円減少し、短期借入金が1億4千5百万円及び未払金が2千6百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては、6億7千3百万円となり前事業年度末と比べ1億5百万円の減少となりました。その主な要因は、リース債務が3千3百万円増加した一方で、短期借入金への振替などにより長期借入金が1億3千9百万円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産の額は、26億8千4百万円となり、前事業年度末と比べ、2千6百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払いにより3千3百万円減少した一方で四半期純利益6千万円を獲得したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期会計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 7 億 9 千 2 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 2 千 9 百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期純利益 1 億 9 百万円、減価償却費 1 億 6 百万円、売上債権の減少 2 千 8 百万円及び投資有価証券評価損 5 千 1 百万円などによる増加と法人税等の支払い 8 千万円などにより 2 億 9 百万円の増加 (前年同期は、6 千 2 百万円の増加) となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却などにより 9 百万円が増加する一方で、製造機器など 5 千 2 百万円の取得を行ったため 4 千 2 百万円の減少 (前年同期は、1 億 2 百万円の減少) となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の調達と返済による増加 6 百万円及び配当金の支払いによる減少 3 千 3 百万円などにより 3 千 7 百万円の減少 (前年同期は、9 千 4 百万円の増加) となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期の国内経済は、今後も企業収益の回復、雇用環境など足踏みの状態が続き、不透明な環境の下で推移するものと思われます。臨床検査薬業界におきましても市場における企業間競争など、経営環境は、ますます厳しさをまましていくものと思われます。

通期の業績につきましては、好調に推移するものと予想しておりますが、P O C T 関連試薬は不透明な状況にあるため、見直しは行っておりません。

当社におきましては、今後も業績の拡大を目指し経営の合理化・効率化及び効率的な設備投資・経費の使用に努めてまいります。研究開発面におきましても自社研究と共同開発研究を積極的に展開し成果を着実にあげてまいります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第 3 四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第 2 四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第 1 四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日) 及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日) を適用しております。これにより当第 3 四半期累計期間の税引前四半期純利益が 3, 600 千円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,032,911	903,745
受取手形及び売掛金	1,004,293	1,032,370
商品及び製品	131,969	132,093
仕掛品	52,390	60,027
原材料及び貯蔵品	141,413	121,485
その他	51,932	75,668
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,412,010	2,322,492
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	795,164	825,590
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	158,268	135,410
有形固定資産合計	2,804,886	2,812,453
無形固定資産	84,256	77,191
投資その他の資産	422,853	465,247
固定資産合計	3,311,995	3,354,893
資産合計	5,724,006	5,677,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	795,928	791,264
短期借入金	1,248,700	1,102,850
未払法人税等	8,538	45,932
賞与引当金	31,000	78,600
その他	281,767	220,797
流動負債合計	2,365,933	2,239,444
固定負債		
長期借入金	549,110	688,660
その他	124,595	90,941
固定負債合計	673,705	779,601
負債合計	3,039,638	3,019,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,006,652	979,465
自己株式	△89,910	△89,740
株主資本合計	2,676,889	2,649,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,478	8,467
評価・換算差額等合計	7,478	8,467
純資産合計	2,684,367	2,658,338
負債純資産合計	5,724,006	5,677,385

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,122,814	3,344,371
売上原価	1,971,063	2,161,150
売上総利益	1,151,750	1,183,221
販売費及び一般管理費	974,921	1,008,508
営業利益	176,829	174,713
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,227	6,481
為替差益	—	4,064
受取賃貸料	6,946	6,687
その他	4,485	5,429
営業外収益合計	17,659	22,663
営業外費用		
支払利息	24,848	21,114
手形売却損	631	478
為替差損	1,776	—
賃貸費用	5,087	3,811
その他	2,548	2,378
営業外費用合計	34,893	27,782
経常利益	159,595	169,594
特別利益		
固定資産売却益	—	146
投資有価証券売却益	12	4,357
特別利益合計	12	4,504
特別損失		
固定資産除却損	4,634	9,693
投資有価証券評価損	—	51,565
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,600
特別損失合計	4,634	64,858
税引前四半期純利益	154,973	109,239
法人税、住民税及び事業税	65,400	47,150
法人税等調整額	10,300	1,500
法人税等合計	75,700	48,650
四半期純利益	79,273	60,589

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	154,973	109,239
減価償却費	93,314	106,988
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	51,565
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△120,693	28,077
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,211	△12,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	126,188	4,663
その他	36,832	12,286
小計	238,404	304,254
利息の支払額	△25,637	△20,373
法人税等の支払額	△156,975	△80,709
その他の収入	6,307	6,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,100	209,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,277	△52,625
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
投資有価証券の売却による収入	30	8,800
その他	665	1,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,581	△42,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	340,000	△10,000
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△424,260	△183,700
配当金の支払額	△17,889	△33,642
その他	△2,918	△10,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,931	△37,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,443	129,166
現金及び現金同等物の期首残高	708,143	663,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,586	792,911

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。